

SDGs サステイナブルシーフードを起点とした食文化醸成や観光振興による地域活性化に関する取組

神戸北野ホテル山口浩と神戸市、神戸市漁業協同組合が連携協定を締結

～神戸の海と海洋資源を守るための連携協定～

エイチ・ワイ・ホスピタリティ・エンタープライズ株式会社（本社：神戸市、代表取締役：山口浩）が運営する神戸北野ホテル（所在地：神戸市、総支配人・総料理長：山口浩）は、2022年6月14日に「サステイナブルシーフードを起点とした食文化醸成や観光振興による地域活性化に関する取組」に関して、神戸市、神戸市漁業協同組合との連携協定を締結しました。

神戸の豊かな海と海洋資源を守り、持続可能な利用の促進を図るため、神戸市、神戸市漁業協同組合、神戸市漁業協同組合SDGs・サステナビリティアンバサダーである神戸北野ホテル総支配人・総料理長 山口浩と脳科学・心理学分野の博士 石山徹は、「サステイナブルシーフードを起点とした食文化醸成や観光振興による地域活性化に関する取組」に関して、相互の連携を強化し協働するための、2022年6月14日に連携協定を締結し、神戸市役所にて記者会見を行いました。



（左）脳学者の石山徹博士（中央左）神戸北野ホテル 山口浩（中央右）神戸市漁業協同組合 組合長 福田明弘（右）神戸市経済観光局 局長 安岡正雄



◆協定の内容◆

- ①市民、漁業者へのSDGsなどの普及啓発
- ②神戸市の海洋資源の保全に資する教育・研究・検討
- ③持続可能な生産と消費に係わる神戸市の海洋資源の情報発信
- ④上記取組を食文化醸成や観光振興による地域活性化につなげていくこと
- ⑤その他、前文の目的を達成するために必要な事項に関すること



◆協定の具体的な取組◆

①神戸の海洋資源を守るため、サステナブルな市内産の「未利用魚」及び養殖魚の活用方法を研究・検討し、加工食品の商品開発などを行います。合わせて、未利用魚の活用に関する情報発信を行い、地域活性化につなげます。

※未利用魚とは、サイズが揃っていない、漁獲量が少なく商品にならない、知名度が低く人気がない、などの理由で非食用に回されたり、低い価格でしか評価されない魚。

②「一次産業（海洋資源の保全）、サステナビリティ、食文化、SDGs、ESG、国内観光振興、国際観光振興、地域経済活性化」に関する高度な教育を目的として、大学での寄付講座を行います。

③この取組をいっそう推進するために、「神戸の自然資源、文化資源、一次産業（海洋資源の保全）、食文化、サステナビリティ・SDGs・ESG」をテーマにした国内観光コンテンツ、及び国際観光コンテンツの開発を行います。

【協定期間】

令和4年6月14日～令和5年3月31日（以降更新予定）

2025年大阪万博に向けて、市民のSDGsに対する意識醸成、インバウンド回復に合わせた観光振興、企業のSDGsへの貢献やESG活動の推進に力を注いでいきます。

【協定関係者】

神戸市

神戸市漁業協同組合

山口浩（神戸市漁協組合SDGs・サステナビリティアンバサダー）

石山博士（神戸市漁協組合SDGs・サステナビリティアンバサダー）

店舗概要

【店舗名】神戸北野ホテル

【所在地】神戸市中央区山本通3-3-20

【お問合せ】ホテル総合窓口：078-271-3711

【URL】公式サイト <https://www.kobe-kitanohotel.co.jp/>



< このリリースに関するお問い合わせ／ご掲載用お問い合わせ >

神戸北野ホテル 広報担当／田川 TEL：078-272-1909（直通） FAX：078-230-1907

Email：j-tagawa@kobe-kitanohotel.co.jp